

5 潮田中央 地区

1. 地区概況

鶴見川と海側の工業地帯に挟まれた潮田地区の中央に位置した平坦な地域です。交通手段は、バスや自転車、徒歩で鶴見駅の利用が多いです。

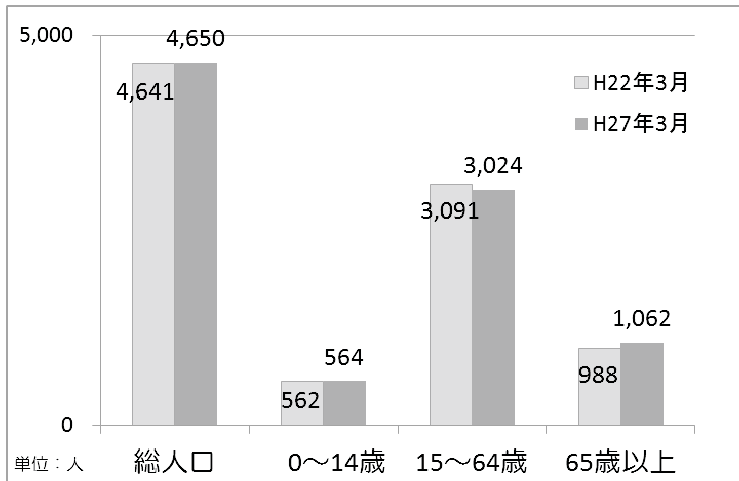
潮田公園や潮田公園コミュニティハウスが立地しています。

6月の潮田神社例大祭は、潮田地区の一大イベントです。



2. 潮田中央地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	4,641人 (100.0%)	4,650人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	562人 (12.1%)	564人 (12.1%)	(13.3%)
15～64歳	3,091人 (66.6%)	3,024人 (65.0%)	(67.0%)
65歳以上	988人 (21.3%)	1,062人 (22.9%)	(19.7%)



- ・5年前と比べて、0～14歳、65歳以上の人口、総人口は微増しています。
- ・一方で、15～64歳の人口は減少しています。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

3. 第2期計画

担い手を育成するための意識を高めよう!

～地域住民の全員参加を目指した、地域活動の促進・意識的な活動の取り組み～



具体的な取り組み
 イベントを活用した地域活動への参加
 段階を踏んだ地域参加への促し
 防災対策の見直しと課題の整理



4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

22・23年度は下記をテーマにして話し合いを行いました！

●3町内会合同でできたら良いと思う事業

⇒運動会、ウォーキング、三世代交流（カルタ大会など）

●災害時の避難場所や地域としてどんな対策をしたら良いか？

⇒水害や災害時の避難場所を一本化できるといいな。



赤ちゃんから高齢者まで向こう三軒両隣の精神で、助け合いのできる地域を目指して
24～26年度は『防災』をテーマにして、地区フォーラムを開催しました。

「災害に対する日頃の備えと近隣との関係づくり」【24年度】

「顔が見える関係づくり」～災害時にどのように助けあったらよいか～【25年度】



24・25年度は『自助・共助』についての講演とグループ討議を行い、以下のような意見がありました。

◇ふだんからのお付き合いがないと、いざという時声もかけられない。朝のあいさつから始めよう。

◆震災被災者の多くが倒壊家屋からの救出、バケツリレーによる消火、地域ぐるみの炊き出しなど隣近所の助け合いの重要性を痛感した。

◇まずは隣近所で自分では避難できない人が誰かを確認しておく。少なくとも向こう三軒両隣とは日ごろから声をかける。

◆建物の倒壊か火事かによって対応が変わる。状況に応じたマニュアルを作成し、援護者の育成を図っていくことが必要。



非常食をおいしく食べよう【26年度】

『体験と試食』

*じゃがりこ de ポテトサラダ

*乾パン入りホットミルク

*わかめスープ&新聞コップ

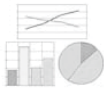
新聞紙でコップを作り、
中にビニール袋を入れ、
簡易なコップの出来上がり！

他、新聞紙スリッパや紙マスクの作り方
なども紹介しました。



今後たくさんの人の交流ができる機会を提供していく取組みを、
引き続き考えていくこととなりました。

5. 第3期計画策定に向けて



☆潮田中央地区フォーラム アンケート結果より

平成27年1月に地区フォーラムを開催した際に、あわせて今後の地域活動に役立てていくためのアンケートを実施しました。その結果、より良い町づくりのために**あいさつや声かけが大事**と思っている方が**全体の半数**おり、且つ、困っている方に対する安否確認の声かけであれば、2割の方が自分でもできると考えていること。また、今後は何らかの**地域活動に参加してみたい**と思っている方が**2~3割**もいることが分かり、この皆さんの思い、力を、どのように地域で活かしていくことができるか検討していくことになりました。

☆潮田中央地区検討委員会立ち上げに向けた打ち合わせ



- ① 平成27年3月25日(水) 参加者：各自治会長、地区社協、民生委員
検討委員会の立ち上げに向け、委員会のメンバーについて話し合いを行いました。
- ② 平成27年6月17日(水) 参加者：各自治会長、地区社協、民生委員
8月の第1回検討委員会実施に向け、地域の現状を整理し話し合いのテーマを検討しました。

☆あいねっと検討委員会で話し合いが行われました！！

第1回 平成27年8月6日(木)

〈参加者〉 地域側：各自治会長、地区社協、民生委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員
老人クラブ
係者：医師、小中学校校長・PTA、保育園長、潮田公園コミハ館長、
潮田公園管理事務所長

『あいねっと検討委員会の立ち上げ』

話し合いテーマ：[地域住民の健康]、[外国籍につながる住民とのかかわり]、[地域の防災]



- ・行事に多くの方が参加することでつながりが広がればいい
- ・子供同士では国の違い関係なく良い関係性が保てている

➡ **「つながりを作る大切さ」を共通認識しました！**

第2回 平成27年9月7日(月)

「つながり」を作るためにはどのようにしたらよいか、キャッチフレーズもあわせて話し合いました。

- ・町会を超えて合同で行事を開催できればいい
- ・ネットワークができれば、世代を超えて交流しやすくなり地域課題も解決しやすくなる





6. 第3期計画策定（28年度～32年度）

地域とかかわりやすい『まちづくり』

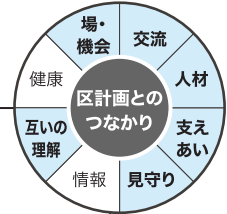
目標1 “つながり” に関すること

■現状と良いところ

- ・児童の登下校時の見守りや学習支援などで、地域と学校がうまく連携ができています。
- ・外国籍の子ども同士は、国の違いに関係なく、よい関係が保てている。
- ・行事に参加する人が固定している。
- ・小中学生、老人クラブ等の集団のまとまりはある。世代間の交流や外国籍の方との交流がもっと必要。

■5年間の具体的な取組

- ◎学校内でのあいさつ運動を地域の中、“まち”の中へと広げていく。
- ◎潮田公園やコミュニティハウス、学校などを起点とした連合会、学校、PTAなどと多世代、国を超えた合同イベントの開催。
- ◎登下校時の見守りの継続。



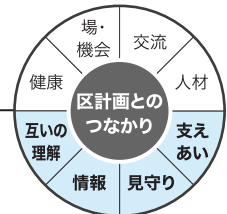
目標2 “防災” に関すること

■現状と良いところ

- ・平成24年度から3年間、防災に関する地区フォーラムを開催してきた。
- ・外国籍の方は防災に関して、どの程度知識を持っているかわからないので、防災訓練と一緒に参加してもらいたい。

■5年間の具体的な取組

- ◎毎年の防災訓練を活用し、地域の防災意識を高める。



目標3 “健康” に関すること

■現状と良いところ

- ・第1期計画時に立ち上げた、親子の居場所「さかえルーム」、みんなの居場所「ひだまり」の取り組みが今でも継続している。

■5年間の具体的な取組

- ◎健康づくりに関する取り組みを、さらに多くの人に参加してもらえるよう継続する。
- ◎外国籍の方にも参加してもらえるよう工夫する。

